

西東京市立東伏見小学校

校長 中嶋 太

西東京市東伏見6-1-28

Tel 042-463-4517

かけはし



学校HP

全国学力・学習状況調査から見たこと

教務主幹 岩森 一弥

1月はチャレンジ家庭学習の取組へのご協力、ありがとうございました。学期に1回、年間3回取り組むチャレンジ家庭学習ですが、学期ごとに成長が見られ、ご家庭でも子どもたちの学習に取り組む態度を育てていただいていると実感しています。

さて、毎年4月に6年生を対象とした全国学力・学習状況調査が実施されます。いわゆる「学力テスト」と呼ばれています。これは、全国の公立小学校6年生と公立中学校2年生を対象に文部科学省が実施しています。目的としては、各対象学年の学習の状況を調査し、その結果を学校が指導に活用したり、子どもたちが学習の改善に活用したりすることが大きくあります。

また、小学校の対象は6年生ですが、6年生だけの成果や課題と捉えるものではありません。この結果をもとに、1～5年生の子どもたちにも生かすことができるよう成果や課題を分析し、次に生かすことが大切です。

その視点で今回見られた課題の中に、「相手に分かりやすく説明すること」があります。

問題には、記号で選んで答える問題だけでなく、記述で解答する問題もあります。ここで課題として見られたのは、記述自体はされているものの、正答に求められる説明のポイントを十分に満たしていなかったことです。平たく言うと、本来書かねばならないことを省略していたということです。

この課題は学校全体で共有し、どの授業でも、相手に分かりやすく説明するために文章を読み直し、必要なことを省略していないかを確認する活動を学年に応じて取り入れるようにしています。

また、この課題は家庭でも取り組むことができます。日常生活の中で、子どもが説明する機会は多くあります。しかしその際、主語等を省略して簡略的に説明している場面はありませんか？かくいう私も、簡略的に説明しがちです。子どもも授業において、文章を書いたり発表したりするときに、必要なことを省略してしまうことが多くあります。そのようなときに、相手に分かりやすい内容だったかを少し立ち止まって一緒に考えることだけでも、「相手に分かりやすく説明する」意識が高まり、その力が伸びていきます。チャレンジ家庭学習週間は終わりましたが、子どもたちの学力向上のために、相手の立場に立って必要なことを省略せずに説明できるよう、時折声を掛けるようにしてください。

★2月 生活目標 物を大切にしよう

学校では、様々な物を使います。学習に必要な道具を揃え、正しく大切に使うことができるように指導しています。その際に大切にしているのは、記名をすることです。ノートや筆記用具等、友達と同じような物を使うので、自分の物だと意識することが、物を大切にするために欠かせません。落とし物で預かっている物の中には、記名が見当たらない物が多くあります。服やハンカチ等にも記名をしていただき、児童が自分の物として大切にできるようご協力をお願いいたします。

12 つくる責任
つかう責任

生活指導部

